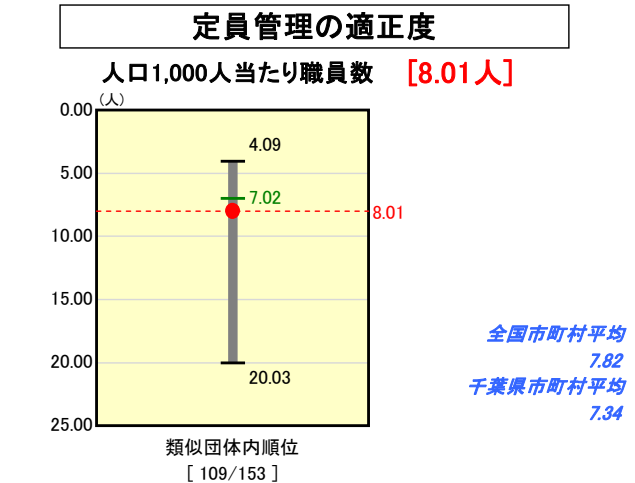
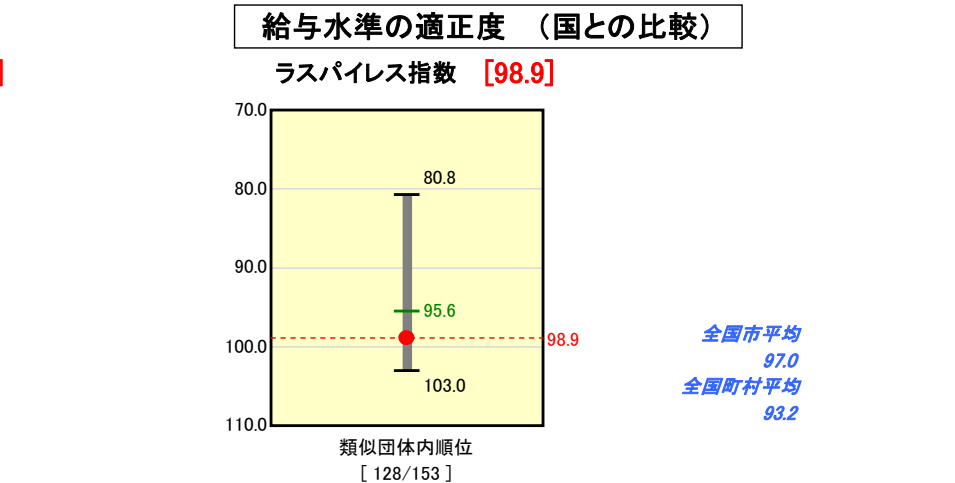
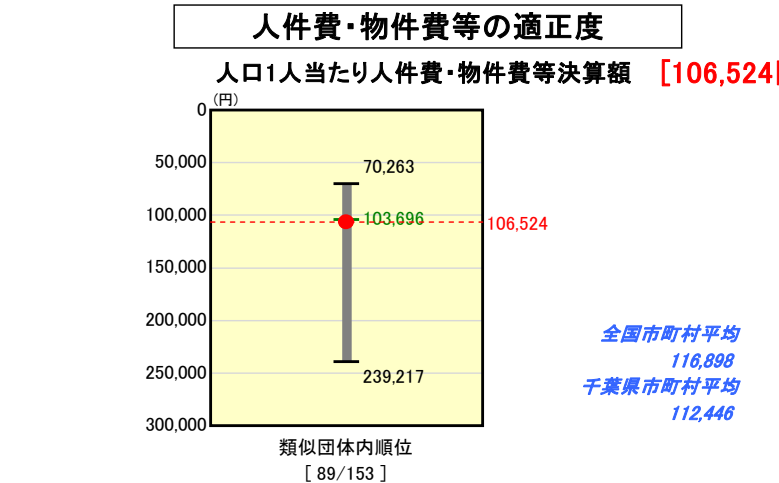
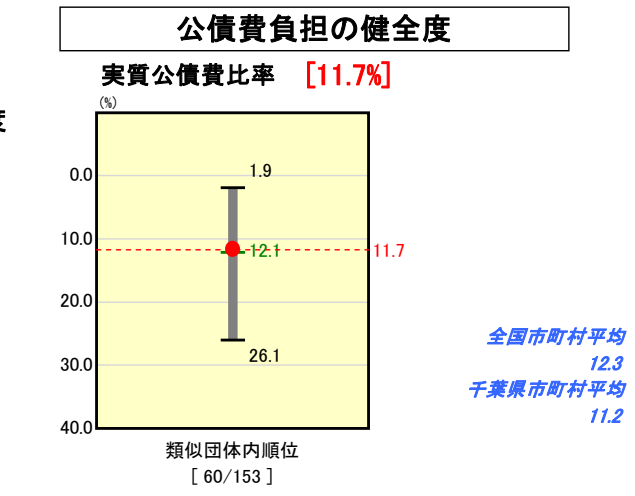
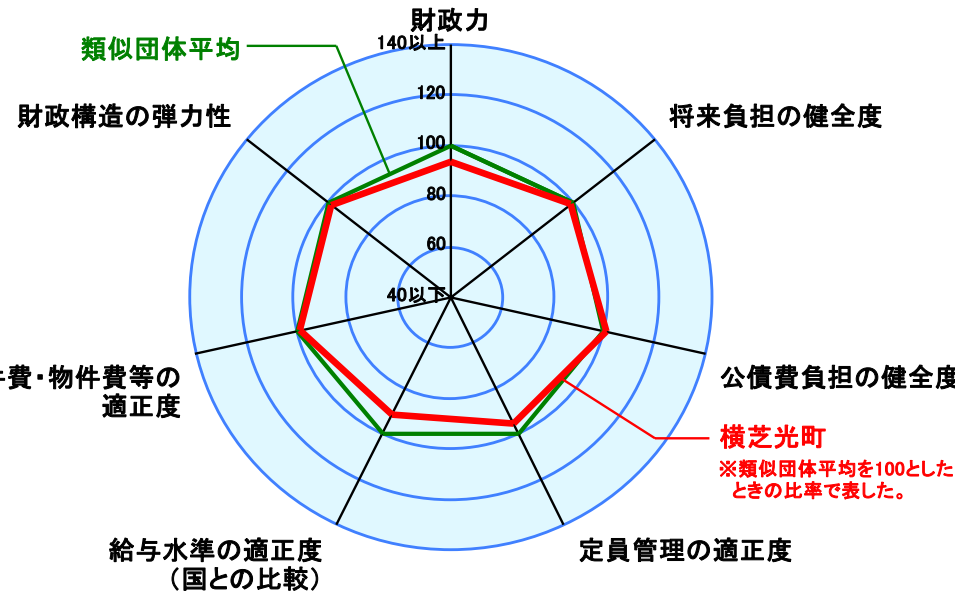
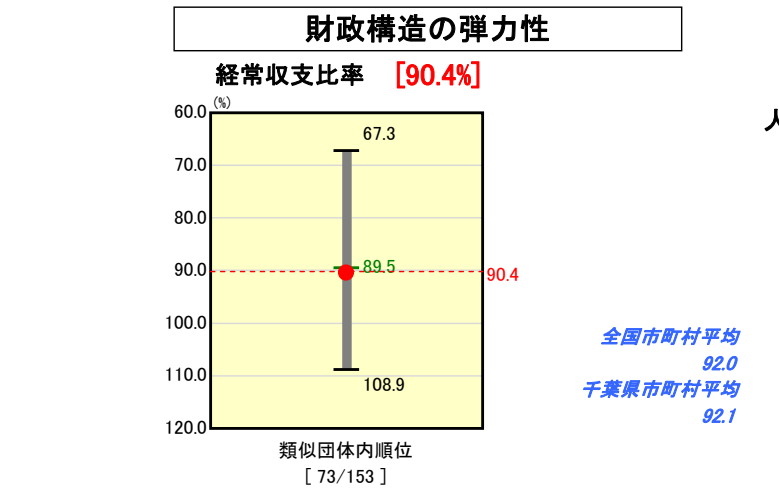
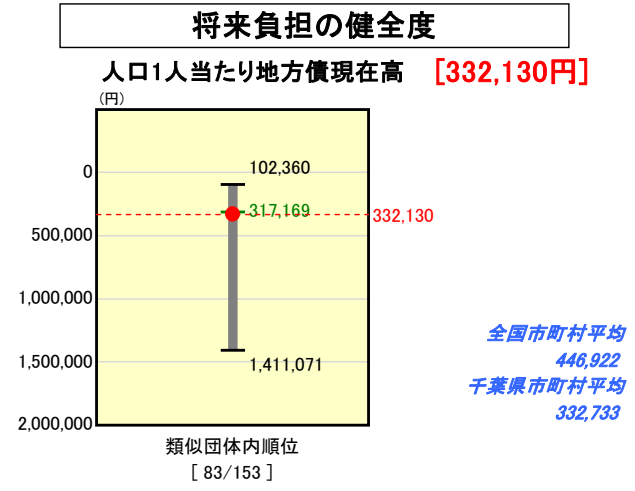
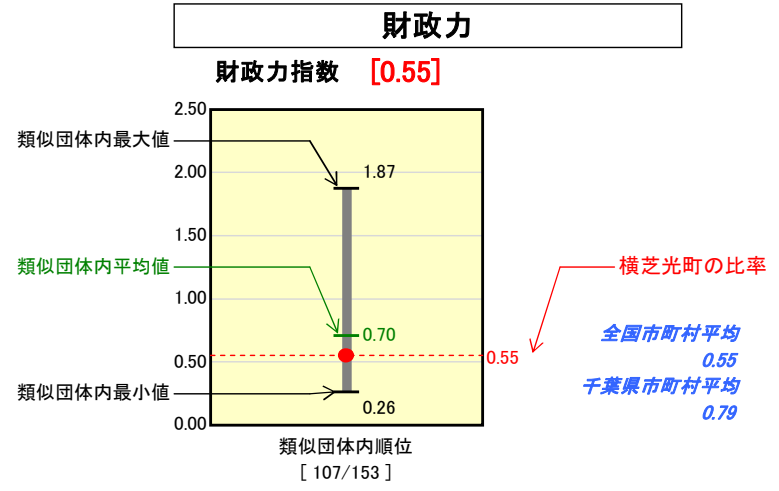


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

千葉県 横芝光町

人口	26,219人	(H20.3.31現在)
面積	66.91	km ²
歳入総額	9,884,232	千円
歳出総額	9,451,483	千円
実質収支	403,391	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

- 財政力指数> 人口の緩やかな減少傾向や全国平均を上回る高齢化率(平成20年4月1日現在26.7%)に加え、町内に中心となる産業が少ないため財政基盤が弱く、類似団体平均を0.15ポイント下回っている。町税等の更なる徴収率の向上、受益者負担の適正化等を推進していくとともに退職職員の補充抑制、第1次総合計画、集中改革プランに沿った事業の優先順位を明確にするとともに施策の的確な選択を行い、行政の効率化に努めることにより、財政の健全化を図る。
- 経常収支比率> 一部事務組合に対する補助費等が類似団体平均と比較して大きく上回っているが、議会議員の在任特例の終了による議員報酬の減、退職者不補充による人件費の大幅な抑制や物件費の減少により、平成18年度92.8%と比較して2.4ポイント減少した。今後は、更なる内部管理的経費の抑制、補助金交付事業の見直しや一部事務組合に対する効率的な運営の促進・精査を行い、経常経費の一層の節減合理化に努める。
- 人口1人当たり人件費・物件費等決算額> 類似団体平均を僅かに(2,828円)上回っているのは、人件費が要因であり、保育所(3か所)、公民館(2か所)や給食センター(2か所)などの施設運営を直営で行っているためである。なお、全国市町村平均や千葉県市町村平均は下回っており、平成18年度と比較しても7,197円減少している。今後は、義務的経費を更に抑制するため、時間外勤務手当の縮減、適正な給与改定、新規職員採用の抑制や事務の効率化を図ることができる民間委託などを進めていく。
- ラスパイルズ指数> 類似団体平均を3.3ポイント上回っている上、平成18年度と比較して0.9ポイント上昇している。人事院や千葉県人事委員会の勧告制度を踏まえ、集中改革プランに沿った給与制度、運用及び水準の適正化に努める。
- 人口1人当たり地方債現在高> 合併特例事業債や臨時財政対策債の新規発行額が増加したため、類似団体平均を若干(14,961円)上回っている。今後も合併特例事業債等の新規地方債発行が見込まれていることから、事業の投資効果、緊急度、国庫・県支出金などの財源措置等を十分勘案し、新規地方債発行額を極力抑え、現在高の上昇を抑制するよう努める。
- 実質公債費比率> 類似団体平均を僅かではあるが0.4ポイント下回っている。中学校移転改築事業、河川の橋梁架替事業などの大型建設事業の起債の償還により、今後は上昇していくと予測される。普通交付税措置や地方債の償還額等に充て可能な特定の歳入のような財源措置の見込める事業の選択を行い、実質公債費比率の上昇を極力抑えるよう努める。
- 人口1,000人当たり職員数> 類似団体平均より0.99ポイント上回っていることから、定員適正化計画や集中改革プランに沿って平成22年度目標職員数を平成18年度に対し20人は削減していくなど、職員数を抑制しつつ年齢階層の不均衡を正し組織の適正配置を考慮しながら適正化を図っていく。